

御野学区支え合い推進の会

インタビュー 大和田 黎子

御野学区情報

世帯数

7,035 世帯

人口

13,532 人

高齢化率

24.8%

■活動のきっかけ

平成 29 年度に地域住民と関係機関で地域で困っていることや気になっていることについて話し合う地域福祉座談会が実施されました。この会をきっかけに、地域にさまざまな課題があることが分かりました。

同年には座談会を機に連合町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会と協力し、高齢者向けのニーズ調査アンケートを実施しました。アンケートの結果からも地域で行う支え合い活動の必要性を感じました。

平成 30 年度には、地域の各団体や地域づくりに関心がある地域住民に声掛けをしてメンバーを募り、平成 31 年 1 月に「御野学区支え合い推進の会」が発足しました。

■活動内容

御野学区支え合い推進の会では、地域での助け合いや支え合い活動を計画的に実施していくために、小地域福祉活動計画の策定に向けた話し合いをしてきました。

話し合いの中で出た課題を「高齢者」「防災」「子ども」「地域コミュニティ充実の取り組み」の 4 つの categories に分け、1 つの category ごとに会を開催し、課題を解決するにはどのような活動が必要か、参加者で話し合いました。

令和元年度に 4 つ全ての話し合いが完了し、これまで話し合ってきた小地域福祉活動計画の内容や、地域での支え合い活動を進めていくことを地域住民に知ってもらうため、令和 3 年 3 月に御野学区第 1 次地域福祉活動計画のパンフレットを全戸配布することが決定しました。

■活動の効果

参加者が毎回とても熱心で、会の必要性を感じて参加してくれていると感じます。一人でやっていくには難しい内容ですが、皆と一緒にやっていくことで続けられていると感じます。



■工夫していること

連合町内会や地区社会福祉協議会などの団体や役員だけでなく、学区全体の取り組みとして実施していきたいという思いがあります。そのため、地域で役を担われている方への声掛けだけでなく、地域で活動しているボランティアグループや生活支援サポーター養成講座の修了生など、幅広く声掛けをし、さまざまな視点からの意見が出るように工夫しています。



■参加対象者

学区民全体

■場所

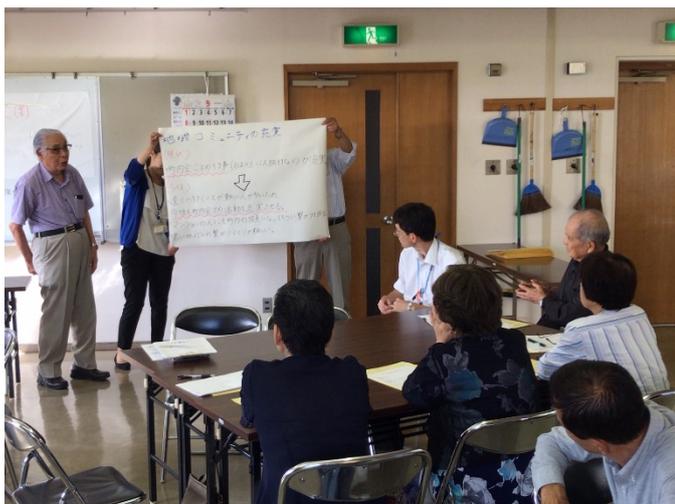
岡山市立北公民館

■運営費

小地域福祉活動計画助成金

■ネットワーク

連合町内会／安全安心ネットワーク／地区社会福祉協議会／民生委員児童委員協議会／愛育委員会／栄養改善協議会／婦人会／老人クラブ連合会／いきいきサロン活動団体／生活支援サポーター養成講座修了者／地域の有志メンバー／岡山市社会福祉協議会／地域包括支援センター／保健センター／介護予防センター／公民館



■苦労した、苦労していること

活動していくうえで地域のことをよく知る方の参加が必要ですが、地域で役員をされている方はさまざまな役職を兼務していることが多く、負担が大きいのが現状です。そのため、会の必要性を理解してもらい、協力してもらえよう声掛けをしていますが、参加が難しい方もいらっしゃいます。

すでに役を担われている方だけでなく、新たな担い手や地域住民からの参加者を増やしていくことが課題となっています。

■今後の抱負

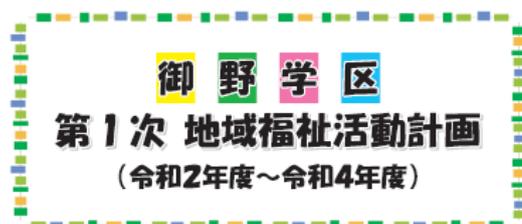
地域とのふれあいは、子どもや高齢者に限らず、自分自身も含め、どの世代に対しても必要だと感じています。しかし、地区社会福祉協議会で実施している行事やいきいきサロンなど、ふれあいの場がいくつかあっても、参加される方が限られているのが現状です。地域住民が普段の生活のなかで自然とふれあいや見守りができていくよう、みんなで考えていくことが必要だと感じています。

また、役を担っている方に限定せず、支え合い推進の会を通じて、御野学区がみんなで支え合える地域になるよう、雰囲気づくりをしていきたいと思っています。

今後は、計画をもとに実際に活動へと繋げていくことが目標です。活動の優先順位を決めるなど、これからも話し合いを重ねて自分たちにできる活動を実施していきたいです。

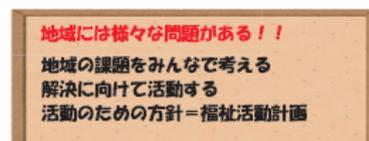
■今後取り組もうとする方に伝えたいこと

地域での支え合いについて考えていくうえで、地域のさまざまな団体や機関との協力は必要不可欠です。また、会を維持、継続していくために、会の参加者全員で協力し合うことはもちろん重要ですが、会の中心になる人がいることも重要だと感じています。



支え合いのまち 御野

小地域福祉活動計画とは、...



この資料は岡山市社会福祉協議会の助成金により作成しております。

発行：御野学区支え合い推進の会

